

5年次で「SDGsワークショップ」を実施しました。

6月14日(金)2・3限、5年次では総合実践室で2つのプログラムが行われました。1つは、**G20での提言のお披露目**でした。この提言書は、3月に現代社会の授業として**学年約150名**で案を出し合い、それをもとに6名のメンバーが形にしていたので、興味津々の様子でした。今回は、英語だけでなく日本語解説もありました(^ ^)。生徒たちは、「私たちが話し合った内容が具体的な形になっているのがよかった」「スライドを使いながらの説明がとてもわかりやすかった」「提言にもあったように、**SDGsのゴールの一つである飢餓をゼロ**に、の解決につながると思う」と感想を話していました。

2つ目のプログラムは、カードゲームを含む「**2030 SDGs ワークショップ**」でした。本校の教育の柱の一つである**国際教育**の一環として、また本年11月の**ベトナム修学旅行の事前学習**として、「SDGsの世界を体感し、“気づき”を得て、“行動”(探究学習)につなげる」ことを目的として実施しました。

カードゲームは、3人1組のグループが16グループ集まって50名程度の3つの「世界」を作り、与えられた目標に向けて、約30分間で**プロジェクト**を実行していきます。ゲームの途中でファシリテーターが中間報告をすることで、自分たちの現状を知り、グループを超えてチームとして協力し始めていく様子が見られました。最終的にどのグループの「世界」も、「**経済**」「**環境**」「**社会**」の**3項目のバランス**がとれた世界になっていき、「**No one will be left behind. (誰一人取り残さない)**」という考えに基づいて定められた世界共通の”価値観”を実感した様子でした。

活動を通して、なぜ、世界に**SDGs**が必要なのかを考え、世界で実際に起きている出来事を知り、世界のつながりや自分も起点になることができることを知りました。ある生徒は「いろいろなことを知り、わかった今、もう一度やってみたい」と終わった後に述べていました。主催者の方からは、「**こんなに上手に行った学校はないです**」とお褒めの言葉をいただきました。皆さん、**主体的な「アクティブラーナー」**でした。

